作画 零覇 Reiha
原作 kt60
チートスキル
『支配』を使って
異世界
ハーレム！
1
RK COMICS
comic
Ra.
KUU
ぶんか社

作画 零覇 Reiha
原作 kt60
チートスキル
『支配』を使って
異世界
ハーレム！
1

CONTENTS

REIHA / kt60 PRESENTS
PUBLISHED BY BUNKASHA

出会ったばかりの子と
抱き合っている
あっ♡あっ♡
イった?
はーっ♡
はい…っ
はーっ♡
どうしてこんなことに
なっているのか
2時間前まで遡る
【第1話】

――2時間前――
ヒュアアア
ここはいったい…
痛い…
夢ではない…？
ビリビリ

それにしても昨日見ていたアニメの草原にそっくりなんだが…
最近よく見る「異世界転移」ってやつか…？
ザアアアア…
ドサッ
それにしたってこんな草原にいきなり出されてもな
……
主人公のマネでもしてみるか
ステータス

うわっ!!

HP　530000/530000
MP　480000/480000

筋力:SSSSS
防御:SSSSS
敏捷:SSSSS
魔力:SSSSS

権能属性:支配

あらゆるものを支配し、操る

スキルも能力もすごいぞ…!

序盤にやられる雑魚キャラだ——！

ある村を「支配」の力で乗っ取っていた——

偽勇者

主人公にぶっ飛ばされて

正体がバレる

敗北したカマセ犬は
力を封印された上で
追放された
ずううう…
最悪だぁ…
末路は悲惨であった

だけど偽勇者も

討伐される前日までは
ハーレムの中で
生きてたんだよな…

長いだけで

からっぽな日々

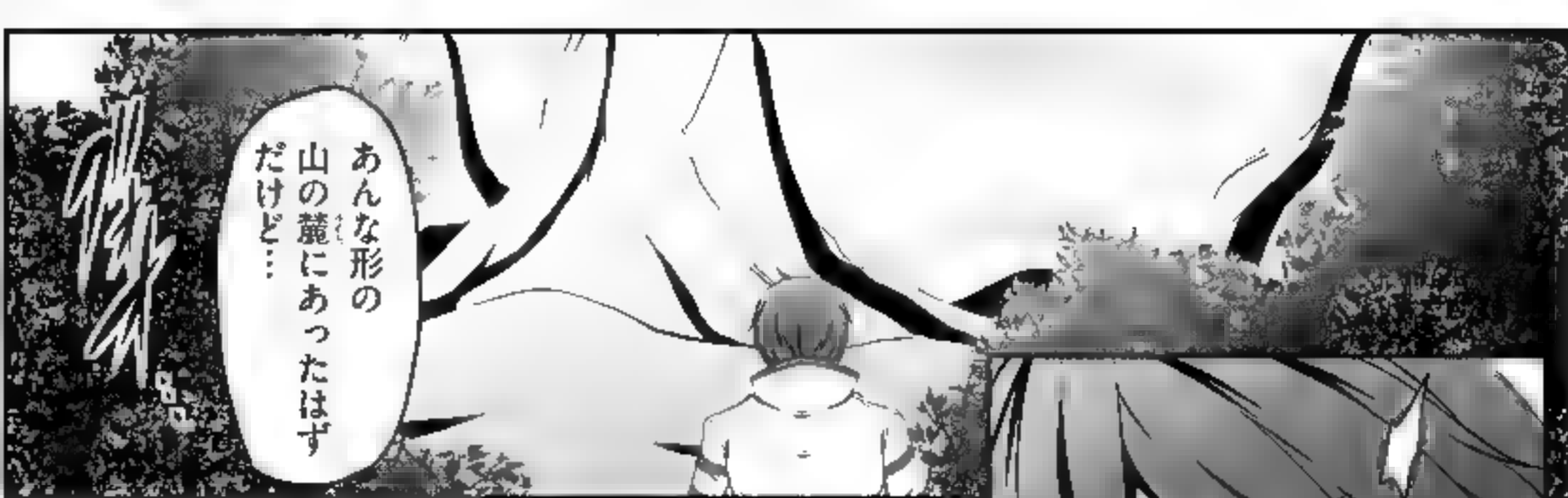
短いけれど

楽しいハーレム

前世の俺は
生きていても
死んでいたんだ。
まともに生きていたって
死んでいるのと変わらなかった
だったら別に
いいじゃないか

勇者襲来まで あと 6日

偽勇者になるのなら
まずはあそこに
行かないとな
デスペラントの村
強靭なモンスターが
跋扈する森
迷い込んだ獅子が
ただの芋虫に
狩られたりする
そんな森の奥で
生まれ育った
超人たちが
一般人として
暮らしている村である
八百屋
LV3000
農家
LV3200
主婦
LV2700

あんな形の山の麓にあったはずだけど…
なんだ!?
!?

いきなりモンスターか！
風を支配して放つ——
ウインドランス!!

さすが異世界だ

まさかいきなりモンスターなんてな

しかし熊を一撃とは…

勇者のためのカマセ犬だからそれ以外には強いようだな

っ!?

人の声!?

行ってみるか!

熊と戦っているのか…

!!

誰か知らんが近づくな！
コイツは森の王者！SS級の危険種だ‼
自分がやられそうなのに人の心配を？
いい娘だな…
ガオアアアオ‼

支配の魔眼だ
俺に見られている限り
おまえは動くこともできない
ヴォ…オ?
風を
「支配」して
放っ――
ウインド
ランス!!

たかがSS
俺の敵じゃない
SSと言えば
1万の軍が出動する
レベルだというのに…
君はいったい…
カマセ犬だよ
「主人公」の
引き立て役だ
カマセ…?
そんなことより
すごいケガだな
見た目は派手だが
問題はない
包帯でも巻いておく

傷を支配して
ポ、っ
飛べ!!
なっ!?
傷を「支配」して飛ばした
どういう原理だ!? 聞いたことがないぞ!?
原理などどうでもいいだろう
クールぶりつつ俺は思った
服までだぞ!?

この女騎士――
ぷわっ
たぷぷっ
エロい
今の俺の力なら
ヤろうと思えば
自由にヤれる
だが――
?

純粋な子に
陵辱は無理……！

しかし

命を助けられた以上
礼は必要だろうな

命の礼は
命で払う

私になんでも
言ってくれ

――なんでも!?

この局面で「なんでも」なんてエロいこと直線じゃないか
好きにしていいぞ
それをあっさり言うってことは
この子は慈愛の神なのか…？
【第2話】
だ…男性経験は多いのか…？
3ケタの後半はあるな！

３ケタの後半!?
―実際の経験―
―俺の想像―
相手が誰でも断らん！
ッ!?
10歳の少年ともしたことがある
！？・！？・？

ふみこめっ!!!
もっとも相手は子どもゆえ優しく教える程度だったが
そう そこ イイ子ね♡♡
優しく教える…!?

やらせてください…!!

いきなりどうしたのだ!?

男女が行う
生殖の行動です
な…っ
それは…
俗に言う…っ
ハレンチな
こと…を？
もじ
はい
したいです
SEXを!!

なんでもすると
言った以上
断るわけには
いかぬ……！
しかし…っ
しかし…っ
ころっ
…さすがに外では
落ち着かない
まずは
安全な
ところまで…
……
土を「支配」して
命じる
ボソ…

な…っ なんだ!?
この魔方陣はいったい…っ!
…!?

要塞!?
ゴーレムが1万体に
10万のトラップ
廊下の一部は異界に繋いで
侵入者を飛ばす仕組みに…
なんというものを
作っているのだっ!!

私を抱くためだけにこんなものを作ったのか!?

そ…そんなにも私と…「したい」というのか…?

まるで城の広間のようだな…

ゴーレムや罠というのも見当たらぬ…

全部隠してあります 美しくないでしょう？

そ…そうか

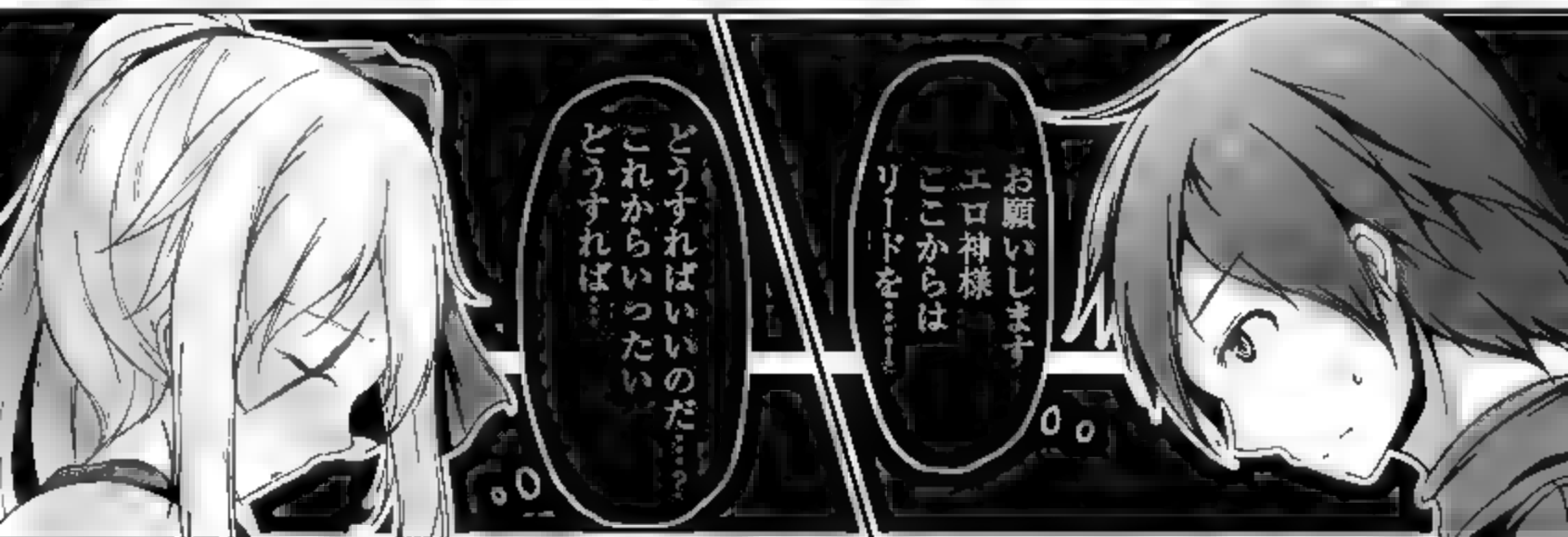
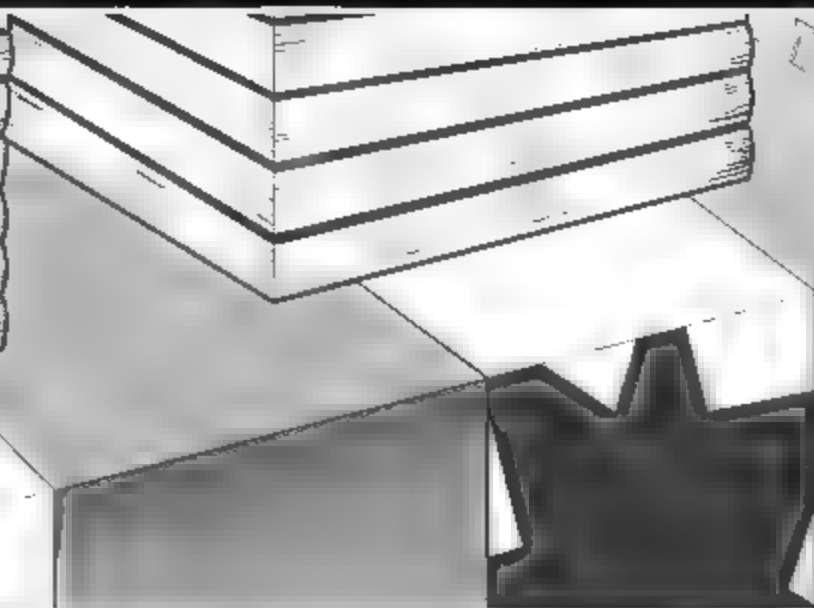
土の魔法でどうやってこんな色彩の物を…？

土や石には絵画の材料になる物もありますから

そうか…

大聖堂にあるような
巨大なステンドグラス
スゥ…ッ
王宮に敷かれるような毛の長い絨毯…
…っ
全部私のためだけに作ってくれたものなのか…
…こんな傷だらけの女にこれほどのものを…？
この部屋です

これは…
まるで王族が使うかのような…
お気に召しませんか
姫
そ…
そんなことは！
姫…!?
そんな扱い
されたことない…！

それでは
よろしくお願い
いたします…
ズッ
そ…
こちらこそ…
お願いします
エロ神様
ここからは
リードを……!
どうすればいいのだ…?
これからいったい
どうすれば…
思い当たる記憶など
私にはひとつしか――

―半年前―
面白い本を探して
王都の書店を巡っていた時
「それ」を
見つけた――
最近に出た
1番売れている本だ
淫らな秘め事が
描かれている
低俗な内容――
いやらしい本――
神官の友人からは
禁止されていた

こんなことを…
世の男女はいたしているというのか…
これ…
あいよ
顔を隠して買った
怪しい…
じっくりと読んだ
ベッドでも読んだ

子どものころに
友を守って
ついたものだ
それに対して
後悔はない

こんな醜い
傷を持つ女が
愛されること
などない
っ…‼
こんな私に…
そんな私に…！

本当によいのか⁉
こんな傷だらけの女で！
‼
あ…
っ…
っ！
ポ…ゎ…

飛ばしたぞ？
え…？
鏡で見てみなよ
そんな…まさか…
あっ…
ドサ
でも古傷は直接触れないと消せないみたいだな
むにっ♡

あっ まって…っ♡…♡
ぁ…あぁ♡
あ はぁ…っ♡ ん…っ♡
はぁっ♡…ぁあっ♡
あっ♡ あっ♡
あ…んっ…♡
い…く…っ♡

んっ♡
っ…キス…してっ
イキたい…っ
口内のぬめり…
舌の感触…っ
れる
れる
れる
身も…心も
この人に
溶かされて
堕ちる…っ
う…っ
イク…っ

俺はあと何回

この寝顔を見ることができるんだろうか

勇者襲来まで あと
ー5日ー

んっ…♡
ちゅっ♡
んっ♡
ちゅう♡
ちゅ♡
んっ…ちゅ♡
ちゅっ♡
ん…♡
巨乳の美少女に
挟まれている
こうなっている理由は
数時間前にさかのぼる
【第3話】

今朝のこと――

ジョー
君が旅をしている理由はなんだ？

彼女…ラティの表情は
曇っていた
深い事情が
ありそうだった

ラティが
望むなら
どんな事情にも
付き合うわけだが

家にはいるんだ…妹も

私の村だ

あぁお帰り！無事帰ってきたね
あぁ大事ない
なんだ彼氏ができたのかい？
ま…まぁそうだ…
村の皆に慕われているんだなな
さぁ着いたぞ
ここが私の家だ

少々古びては
いるが…
今日からは
自分の家だと
思ってほしい
日頃から
鍛錬してるんだな
戻ったぞー

…あねさま?

あぁ
ただいま

……!

おかおの
おきずが…

フラッ

なくなった

……!

パアアァ

おめでとう…
です…！
！
？
こちらは…
どーも…
どなた…ですか？

おにいちゃんがあねさまのきずを…

トテトテ

ありがとうございました…です！

家は狭く
見るものも
少ない
だが…
庭には
露天風呂が
ある！
おぉ…
父の趣味だった

どうやって
お湯を張るんだ？
まぁ見ていろ
この木は地下水を
吸い上げて貯めこむ
性質があるんだ
…!?
なぜお湯に…？
太陽の熱も
吸収して貯めるんだ
元々は寒冷地に
生える木だからな

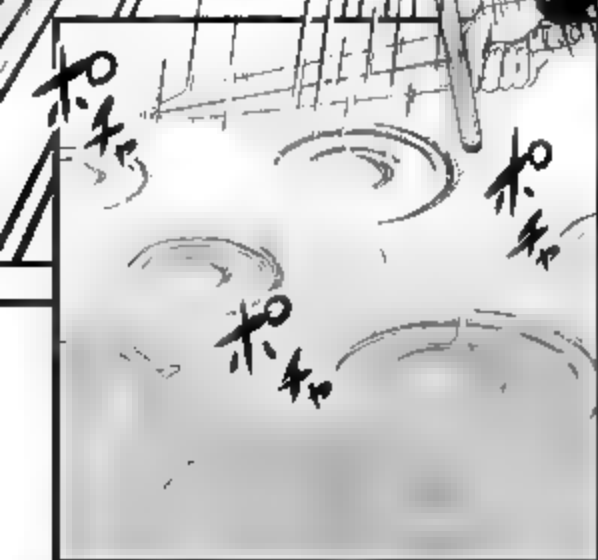
そしてもうひとつ
ポーン
パッ
パッ
パッ
パッ
パッ
ポチャ
ポチャ
ポチャ
泡風呂になった⁉
おお…
この実は湯に入るとこうなるんだ
もこ
もこ
もこ
もこ

食べてもうまいし
傷によく効くんだ
万能果実だな…
と…まぁ
ぱちゃ…
これくらいだな
家の案内は
気に入って
もらえた
だろうか…
もちろんだ
すぐに入りたい
くらいだよ
そっ…
じ
ー…
！
なら早速
入ってくれ！

〜〜〜ぁぁ
染みるな…ぁ
ゔぁ〜〜……
こんな気持ちいぃ
風呂は生まれて
初めてだな
気に入って
もらえてよかった
カポーン
大切な人が
喜んでくれるのは
うれしいものだ…
ん？
くいくい
……
どうした？

?
すすっ
……
……！
それは…
こくり
いいのだな？
私としては…
望ましいが…
もじ…っ

すっ…
♪～
たぷっ
するっ…
ガラッ
なっ……!
し親睦を深めようと思ってな
妹さんも!?
おからだ…おながしします

能力は
使ってない
はずだが
……
な…なに？
！

こ…コレはいったいどういうことで⁉
すりすり
妹も愛してやってくれ
ギュ…
愛する者が複数いれば誰かいなくなっても残った者で慰めあえる
ぽそ…
！
死の存在が
身近ゆえの考えだった

つまり――
この子も抱いていいのか
んんっ…！
舌が…
口の中を蹂躙して…
エロ神様の妹も――
エロ神様ということか！
んっ…
んちゅ…

──間違ってはいなかった
んっ♡
ちゅっ♡
あ…むっ♡
あっ♡
あ♡
あ…♡
は…ぁ♡
んんっ♡
しかしこうしているのは
それだけが理由ではなかった──
エッチな本を買ってしまう姉と
同程度には──
エッチなことに興味津々だった

ふたりは幼いころに

両親を亡くした

姉は唯一の肉親であり

世界で1番大切な人

姉は騎士になった

身体を張った仕事は
稼ぎがよかった

でも妹は知っていた

身体の傷が
心まで傷つけていた
だけど自分には何もできない
目の前の人はそんな姉を救ってくれた
はー♡
はー♡
だから自分のすべてをあげたい

そろそろ
いいだろう
はぁ…っ♡
はー…♡
私の大事な
妹も…同じように
愛してやってくれ
はら…っ
ぷ…っ♡
あ♡
ああっ♡
はいっ…て♡

あぁっ♡
あっ♡
あっ♡
あ…っ♡
ぐ…っ…
ん…ちゅ…っ♡
っはぁ♡
んっ…ん♡
はぁ…はぁ♡
ぬと…っ

ふたり合わせて
4回もした
はー…
ふー…
ふー…
はー…
さすがに俺も
ふたりも
ぐったりして…
ギュ…ッ
おお？

のぼせたなぁ…
冷たい物でも
用意しよう
ぐい
ぐい
んん？
ベッドでも
してほしい…
です…！
お…おう
つかれてるなら
わたしが
うごきます…！
ずぷっ
はっ…
はっ…
ずぷっ
さらに搾られた

はい…
あーん…
あ〜ー
おいしい…
です？
うまいよ
ん…！
あねさまが
しとめた
おにく…です！
料理したのはミティだ
味付けもいいだろう
なで
ふたりとも
ありがとうな
なでー
最高の
味だった
う…うむ
すりっ…♡

幸せにしたい子が増えた——
私も…♡
しょくごはこっちのおにくも…
いただこう
姉妹丼を食べた

ザァァ…

すー すー
くー…
くー…

くー
すー…
ふふ…

幸せな時間だった
3人で愛し合えた
ミティもよく懐き
少々しすぎな
きらいもあるが…

すっ…

愛する者ができた
思い出も作れた
もう十分だ

愛する者が複数いれば
誰かがいなくなっても

―勇者襲来まで あと5日―

しかし彼女は…？

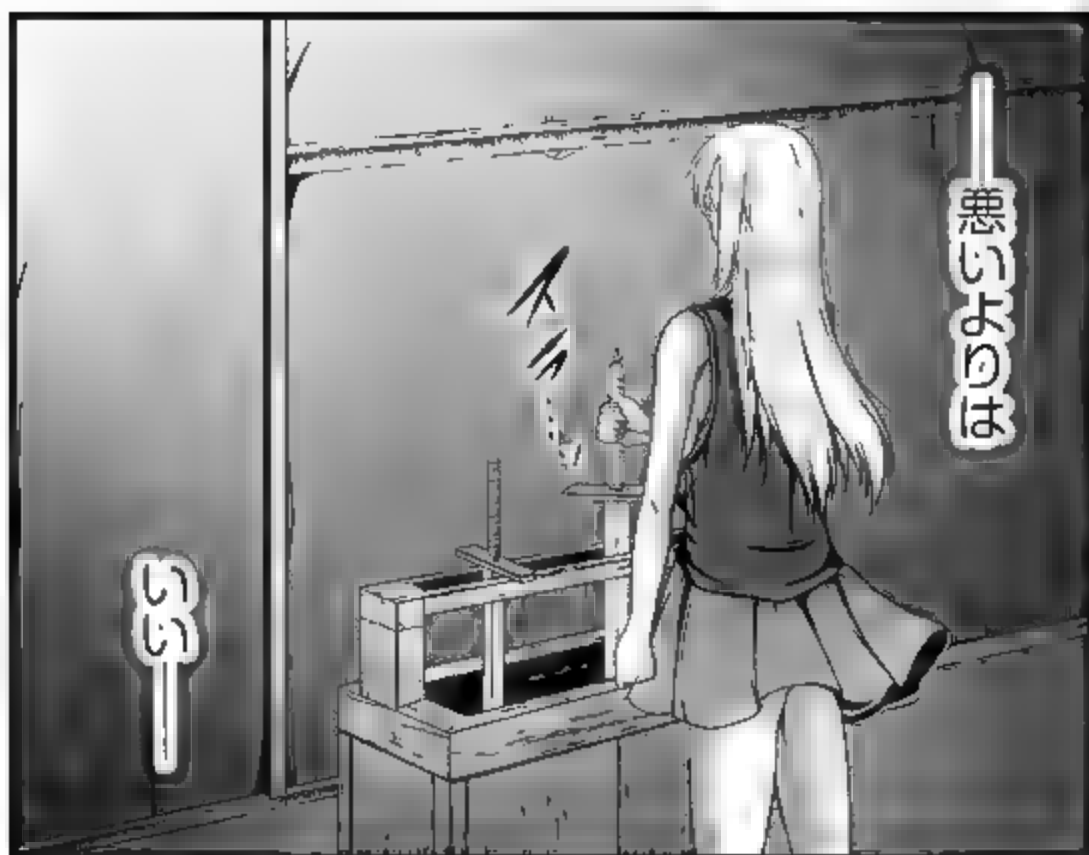
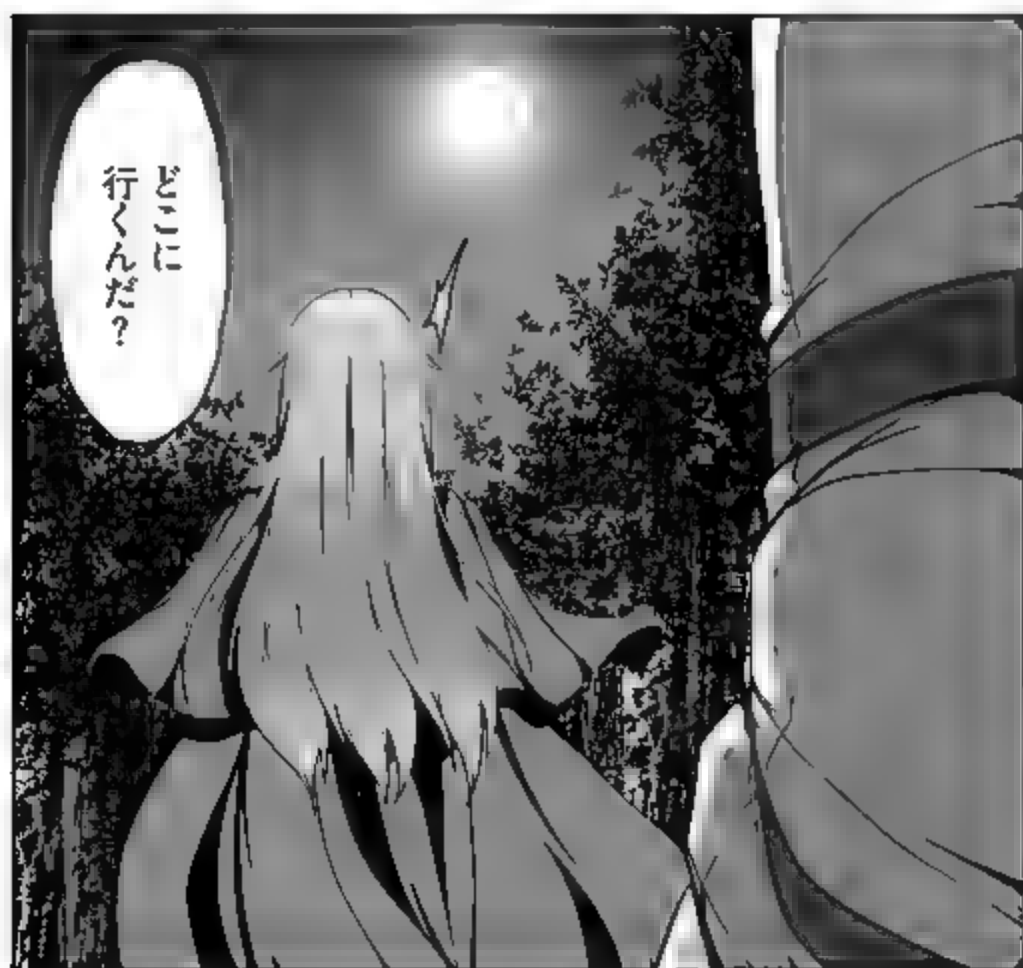
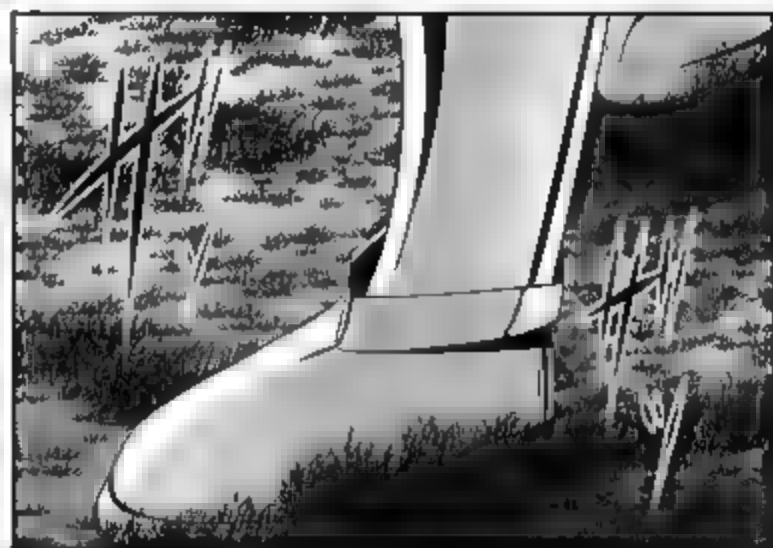
【第4話】
どこに行くんだ？

なっ――!?

どうしてここに…
出ていく気配がしたからな
悪いが後をつけさせてもらった
こんな時間に武装してどこへ行く気なんだ?
……

北の…山には

竜がいる

まさか
おまえが…？
いいや
妹（ミティ）だ
…私が騎士に
なったのは
竜を倒すためだ
騎士になれば…
魔物を倒す道具は
容易に手に入る
こんな物もな

これは竜殺草と呼ばれる毒草だ
文字通り竜が食えば死ぬ
滅多なことでは手に入らないが…

魔物を倒した金や闘技場で得た金を…
延々貯めこんでやっと買えた
何年もかかってな
ただ…これには欠点が1つある
竜はコレを喰わない
喰えば死ぬ草なんて頭のいい竜は口にはしない

喰わせるには…奴の好物と一緒に腹の中に入れるしかない
竜の好物って…まさか

人間だ

…っ！
それは…！

グッ

殺せるんだ！
これを…私が飲み！
その後っ…

生きたまま…っ
喰われれば…！

殺せる…っ

その覚悟は…
もう…できている
気がかりだったのは
ミティをひとり残してしまう
ことだったが…
それも…
解決した
キミが…幸せに
してやってくれ
妹は気立てがよく
家庭的な子だ
もう――
私のような
粗野な女よりも
ずっと男の好みだ
抱き心地も
よかっただろう?
見ていられない――
私などぞ…乳が
デカいくらいしか
取り柄がないぞ…ははっ

あっ…

竜は俺が倒す

っ…いくらキミが強くとも それは…

確証がある訳じゃなかった

俺の元ネタの噛ませ犬も竜からは逃げていたかもしれない

今の俺の行動は…設定外のごとかもしれないから

俺を殺せるのなんて勇者くらいだ… そういう設定だからな

う…自惚れるのも
大概にしろ…っ
死体が増える
だけだ…！

それも…
喰われて死ぬんだぞ！

例えそれでも…
俺はおまえと行く

抱いたからには
もう俺の女だ
自分の女を…
見殺しにはしない
怖くないは嘘になる
行かなければ
死ぬことはないんだから
だけど俺は勇者に殺される
運命にあるんだ

なら…
少しは運命に挑戦しよう
本当に勇者以外に
殺されないのかを
目の前で震える
女の子のために

俺の初めての
女のために

本当に…
いいのか…？

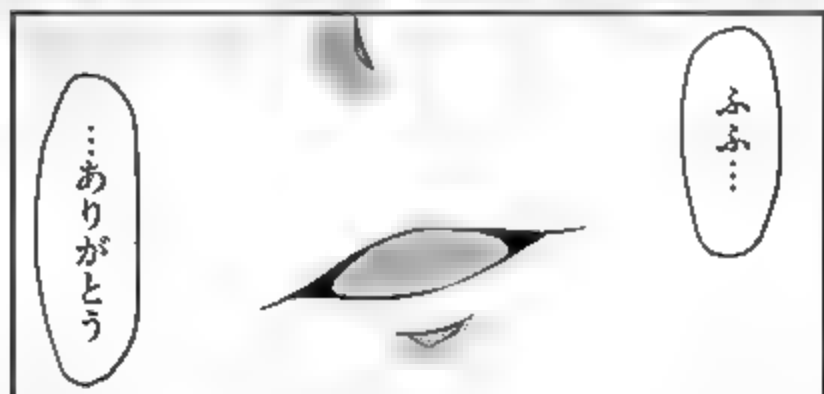
もちろんだ
一緒に竜を倒そう

……っ
すまない…

こういう時は
「ありがとう」だぞ？

ふふ…
…ありがとう

その…もうひとつ頼まれてくれるか？
なんだ？
はしたないと思わないで…ほしいが…

キス…
して…くれないか

んっ…
ちゅ…。。
あ…
んっ…♡
んっ…ふぅ…っ
あ…んっ…
不思議だな…
キスひとつで
恐怖が消えた
なんだ…やっぱり
怖かったんじゃ
ないか

竜と対峙しようともう震えない

キミのキスひとつで十分だ

抱いたらもっと怖くなくなるんじゃないか？
そ…それは…そうかもしれないが…
むにっ
なんだもう濡れてるんだ？
ち…違う
す…好きな人がそばにいれば当たり前だ…

かわいいこと
言うなぁ…
なら期待に
こたえないとな
あんっ♡

弱いところは
もう知ってるけど
あっ♡
少しずらして
擦ってやろう
んぅ♡

あっ♡あっ♡
んーー♡
ここがいい？
それとも
もう少し右？ 左？
どこを弄ってほしいか
言ってほしいなぁ
んぅ♡

し…知っているだろう…っ
もっと…

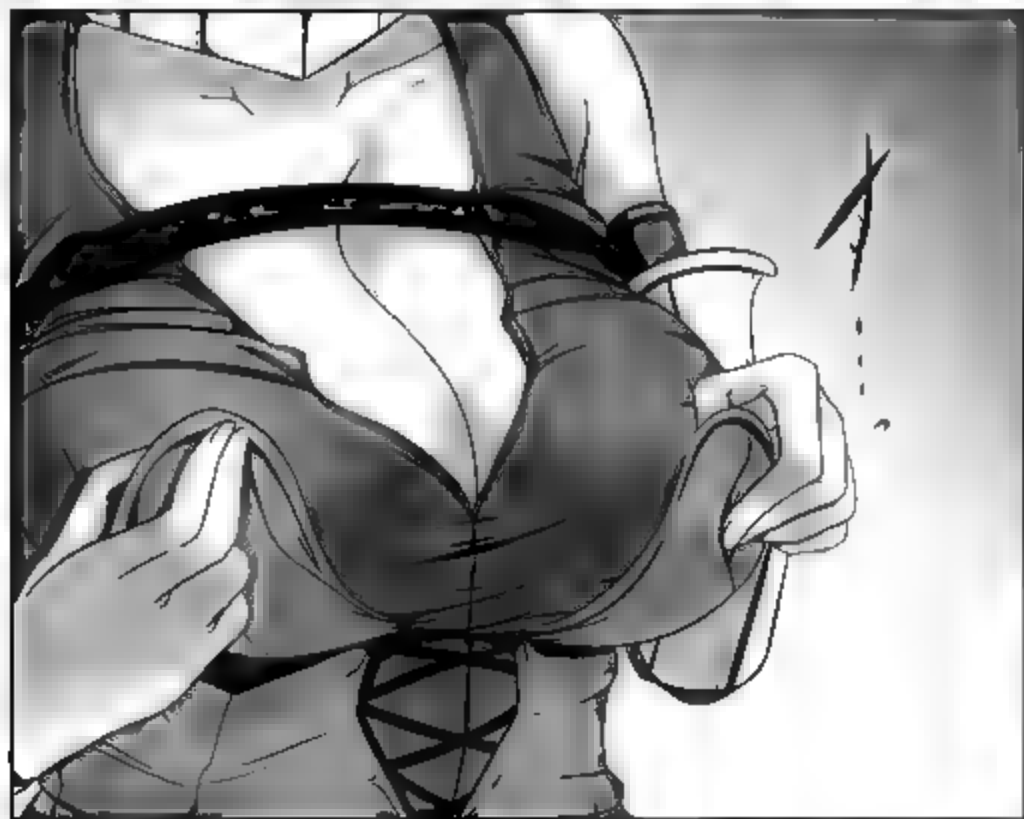
奥のここだよな
知ってるよ

いっ…♡
イっぐ…っ♡
んぐ～～～っ♡
あ～～～♡
ははっ…イったな
恐怖は去ったか？
それとも…

してほしい？
ぼそ…
指で満足できるならそれでもいいけど
や…
い…いじわるしないでくれ…
い…挿れてほし…
んあああぁ♡
はいっ…たぁ…♡

あっ♡
あっ♡
んあぁっ♡
んっ♡
ほら
ハー♡
キスも
ハー♡
これ…っ駄目だ…っ
きもち…っ
よすぎ…るぅ…
んっ♡
んぅ♡
イクっ♡
イぐぅ…♡

お尻こっちに向けて突き出して
う…うむ…
初めてもバックだったたな
家の時より反応がいいぞ
女騎士は後ろから犯されるのが好きかぁ
いいよいつでもイって
ば…馬鹿ぁ…も…うっ…

ドクッ

…もう足腰が立たん
出立は休んでからだ

悪い
やりすぎた

いや…
激しくされるのは…
求められてる感じがして
その…嫌いじゃない

なら次は
もっと激しく
するか

だが妹にそんな痴態は
見せられんな
騎士として耐えてみせる

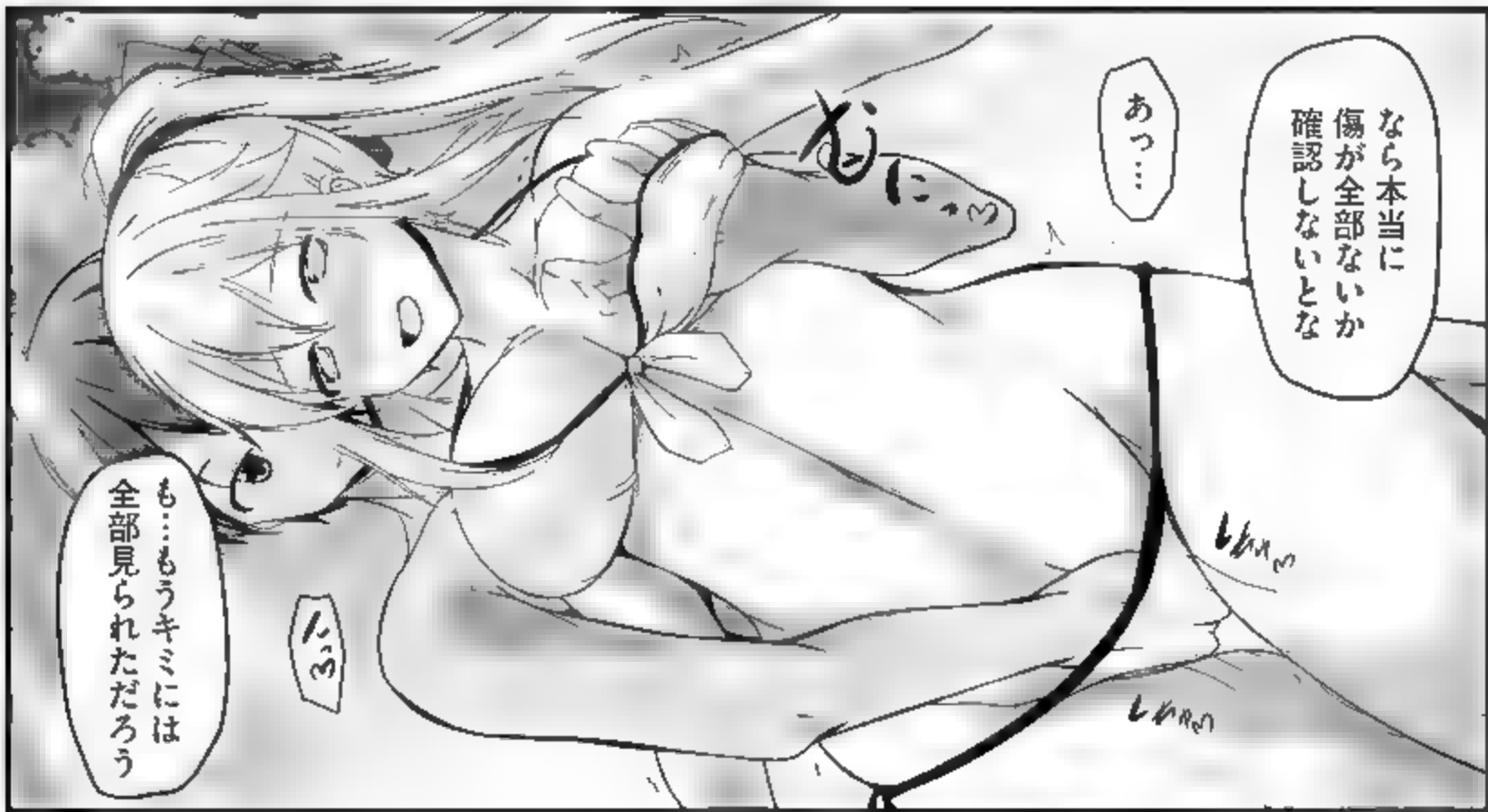
なら妹さんも
壊れるほど愛そうか…
だから…

生きて帰ろう

竜を倒して

【第5話】
海・・・！
走り回って転ぶんじゃないぞー
はーい
トテテ

…ドラゴンと戦うのではなかったのか？
ん…？ あぁ
戦うからこそ自分の能力を
確認しておきたいんだ
ところで…その水着似合ってるな
そ…そうか？今まで着る機会がなかったから心配だったのだが…
傷だらけの身体で着るのは恥ずかしくて
キミが気に入ってくれたのならよかった

なら本当に傷が全部ないか確認しないとな
あっ…
むにゅ
も…もうキミには全部見られただろう
ん
私も…まぜてほしいのです…
ん…キス…好き…
ん…
ぱた
ぱた
あぁこっちにおいで
んっ…んは…んっ…
れる
れる

それで能力の確認とは？
気持ちよかったのです…
まぁ見ていてくれ
1回ずつした
…
オレにとって最優先はふたりの命
支配して
ふたりのためなら何回死んでも構わないと今は思う
しかしこの暮らしを捨てたいと思えるほど人間離れもしていない
だから自分の力はちゃんと確認したい
それはドラゴンのあと『勇者との戦い』にも役立つはずだ
命ずる
凍れ!!
おお…！

すさまじい
力だな…
おすごい…
です
確かにすごいとは
自分でも思う
でも…
ふっ！
やっぱり見えてない部分は
効果が発動しないようだな
海がおもらし…
しているのです
なら逆に
見えて
触れていれば…

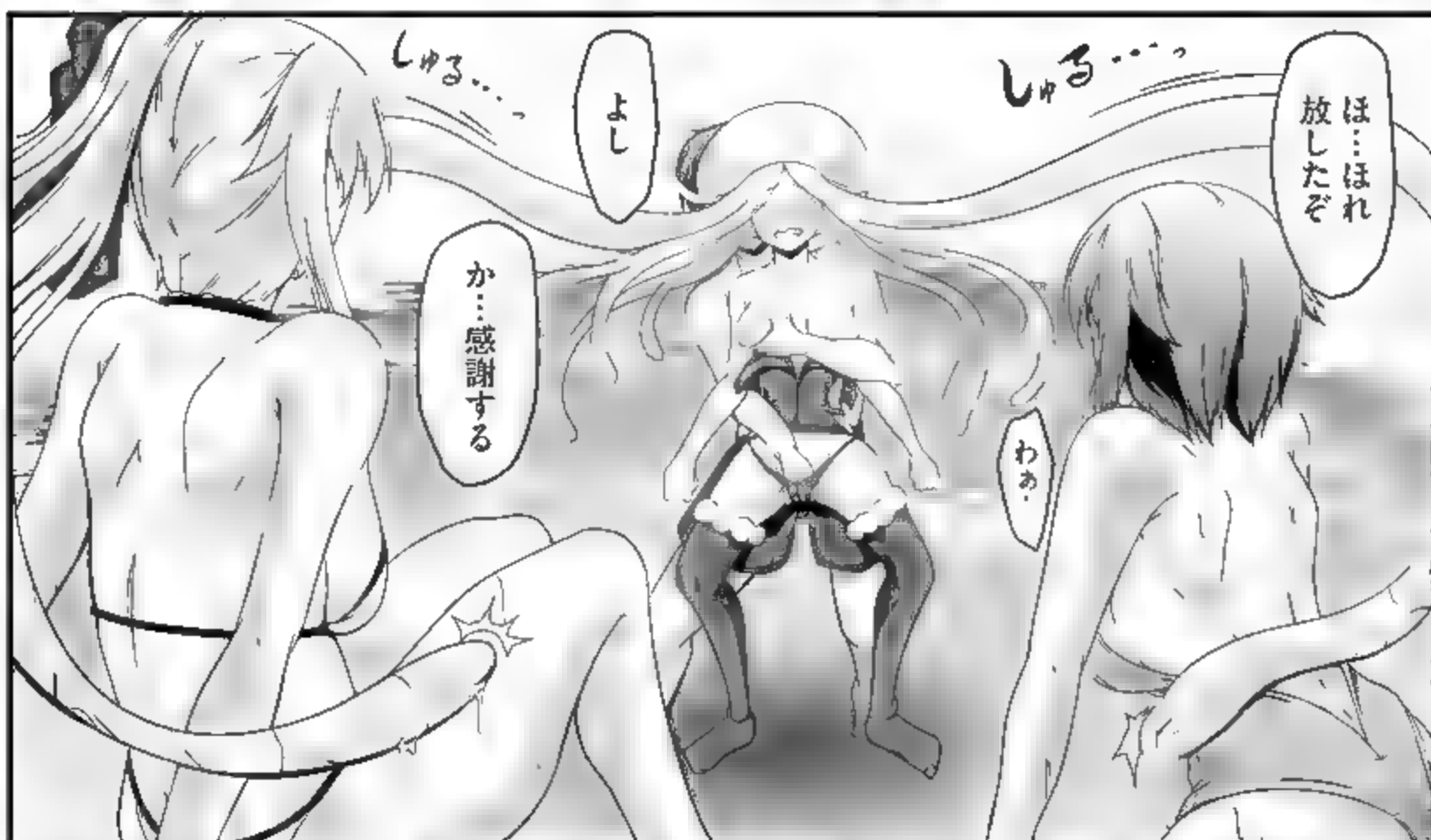
時速200キロで
吹っ飛べ!!
そして…戻ってこい!
今度は命令の簡略化でとおるのか確認しよう
無理か…
見えてても離れすぎると駄目か
吹っ飛べ
あーこれでもいいんだな

あとは人や生き物をどのぐらい「支配」できるか試したいところだが…
おそらく重要なのはオレの頭のイメージだ
それならきっと…
その辺に適当な生き物は…
キョロ
キョロ
な…なんだ!?
空気が振動している…?
ゆら～…
グラ
グラ
地面も…ゆれてる…です
グラ
グラ
わらわの海を荒らしたのは貴様か
な…誰だ!?
新手の魔物か!

わらわの名は
ジェリー＝スピリッツ
見てのとおり偉大なる
大高位の精霊じゃ
理解したなら平伏すが
いいぞ人間ども
大高位の精霊だと…!?
そんなにすごい
やつなのかい？

噴火や津波
地震に竜巻
災害と言われるもののすべては…
彼ら彼女らの怒りが原因とすら言われるのだ！
確かにわらわがその気になれば
国のひとつは沈められるかもしれんのぅ
海を荒らして悪かった 謝るよ
アンタみたいな管理者がいるとは知らなかったんだ
ふむ…
素直に謝罪するならばこたびは不問でもよい
よかった…
不必要な争いはする必要がない
勝てるとも思えんからな
ふぅ…
ゆさっ
ほほぅ…
ぷるっ

これは…素晴らしい上玉じゃなぁ!
なっ……!
ぬるっ
わぁ…
待て!!
許すんじゃなかったのか!?

海の件は許そう
じゃがうまそうな
果実じゃ
すー
２つ摘んで
持って帰るぞ
ヌシらも果実を摘むのに
木に許しは求めんじゃろ？
っ…やめろっ！
安心せい
海の底で飽きるほど
犯してから戻してやる
1万回はイカすゆえ
まともな意識が残るか
どうかはわからんがのぅ
動くな
むにゅるっ
ぬるっ
うー…ぬるぬる
するのです…

視界に捉えて魔力を集中させれば言葉だけで通じるようだな
なぬ…っ 身体が…身体が動かん…!?
実験台になる生き物を探してたんだ
高位の精霊ならなおのこと好都合だ
くらぁ!?

やめろ…ッ!!
相手を視認しているなら
心の中で思うだけでも
『支配』は有効なようだな
むにっ むにっ
やめ…
あぅううんっ
きききき貴様!
人間の分際で
わらわの処女を
奪うつもりか!?
なんだ人間の女を
犯そうとしたくせに
「大高位の精霊」さん
わらわはおなごを
犯してイカせるのが
好きなのじゃ!!
汚い男なんぞの
汚いブツを受け入れるなど
まっぴらごめんじゃ!!

しゅる…っ
ほ…ほれ
放したぞ
しゅる…っ
よし
か…感謝する
わぁ…

くくく…

馬鹿め…!!

!?

『命令』しておいたのがわからなかったのか？おまえは俺に『攻撃できない』
ひぃ…っ
すまぬ！このとおりじゃ！ヌシ様の力を見誤っていたのじゃ！
誤りは誰にでもあるのじゃ！精霊にもあるのじゃ！
悪気はあったがもう捨てたのじゃ！だから許すのじゃ！
大丈夫安心しろよ別に怒ってないから
ほんとーけ？ヌシ様は優しいのぅ

あぁ…でも
おまえの言葉は
納得するところも
あるんだ
果実を取るときに
木の許しは請わないよ
まったく同意だ
やっ…やめるのじゃ！
い…いやじゃ
男に嬲られるなど
いやじゃぁぁああぁ！
は…入るっ
男のモノが…っ！
入ってしまうのじゃ！
娘どもっ！
見てないで
助けるのじゃ‼
ばた
そうだな
あねさま
お昼食べて
待つのです
わらわが
食べられて
しまうのじゃぁ‼
ばた

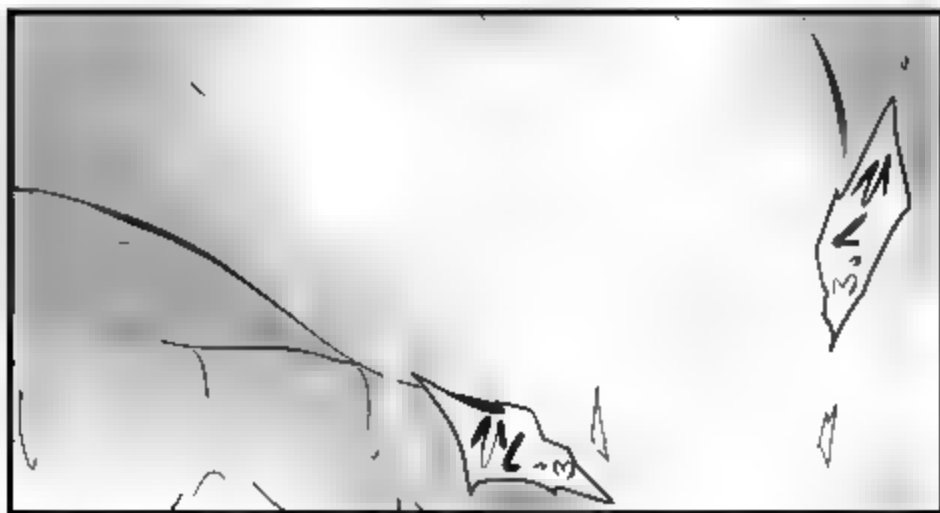
さっきも思ったがクラゲみたいに柔らかい乳だな
せ…せめて優しく…優しくしてほしいのじゃ
それは聞けない「命令」だな
や…ぁ
入った…入ったのじゃぁ
汚いモノがわらわの…ぉ
いや…じゃあ…

なっ…何故じゃ⁉
男がこんなにも…っ
きもちいいとは…
ずぷっ
ずぷっ
ずぷっ
んほっ♡
おっ♡
ずぷっ
おんっ♡
やめるのじゃ…
このままだと…お
イって…
イってしまう…のじゃ
んぐ～～♡
イ…グ…♡

んおぉおぉ イグッイグッ
パンッ
パンッ
パンッ
ぷるっ
ゆ…ゆるさぬっ わらわを男がイカせるなど…ぉ
こ…ころしてやるっ
ころしてやるのじゃ…ぁ
なっ…なかには…中に出してはならぬぞっ
人間の…男の子など孕むわけには…ぁ
ぶぴゅっ
ぶぷっ
ぶぷっ
ぶぴゅうううう〜っ

うぁあぁぁあぁ♡
ドプッ
ビュ〜ッ♡
んほぉぉ♡
ドプッ
なかぁ…でてぇ♡

はー

あにさま
ごはん食べるの
です？
あぁ もらおう
あーん…
です
あーん

うまい
オレの支配能力は
物理攻撃に使えるし
高位の精霊にも効く
きっとドラゴンにも
効くはずだ
それがわかった1日だった

…意外に
嫉妬深いのか？
私は…
いや
いいんだがな…
別に…

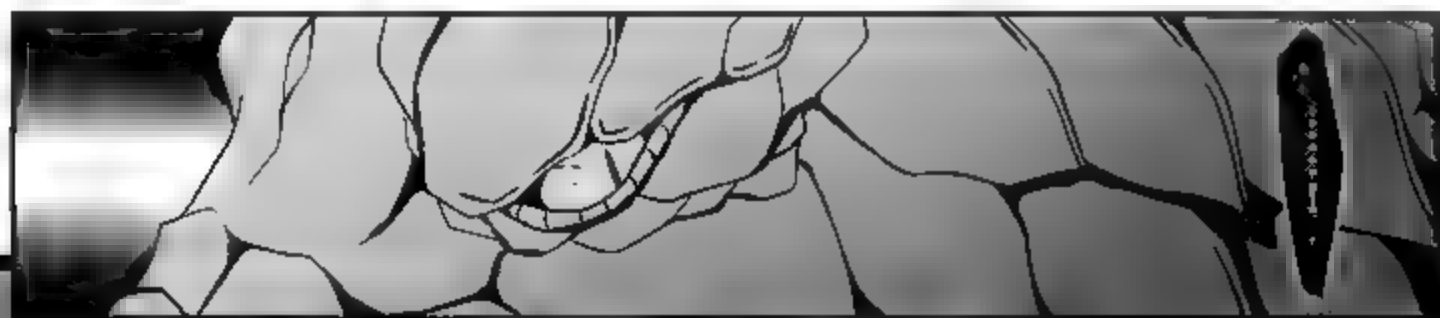
ミティは家に帰し
まってるね…
かえったらまたあそんで…
ジェリーは海に帰した
復讐してやる！絶対に許さぬからな！
ワイルドベアーを支配し
ドラゴンの山へ突き進む！
【第6話】

……！

人間風情が…また我を殺しにでも参ったか…

人を殺すようなドラゴンは放っておけないからな

力の差も理解できぬとは
愚かな
炎よ
止まれ!!

何…!?
散れ…!!

時速200kmで――
吹っ飛べ!!
!?
チッ…外したか
もっとよく狙わないと駄目なんだな
大きい岩をくれ
頭を吹き飛ばしてやる
うむ!

竜が…!?
女の子に?
正体は人間
だったのか!?

ボ…ボクは
人間じゃない!!
誇り高き
ドラゴニュートだ!!

誇り高いドラゴン娘は小便を漏らすのか
じわ…
ち…ちょっとびっくりして燃料が漏れただけだ!!
おしっこじゃないぞ!!断じて違うっ!!
ふーん…
ゆさっ♡
ところでひとついいか?
な…なんだ!?
俺はひとりでも多くの美少女とやることを目標にしていてね
おまえ…美少女だな?
な…!?

貴様…っ!!

ふざけるな!!

フンッ!

な…あ…

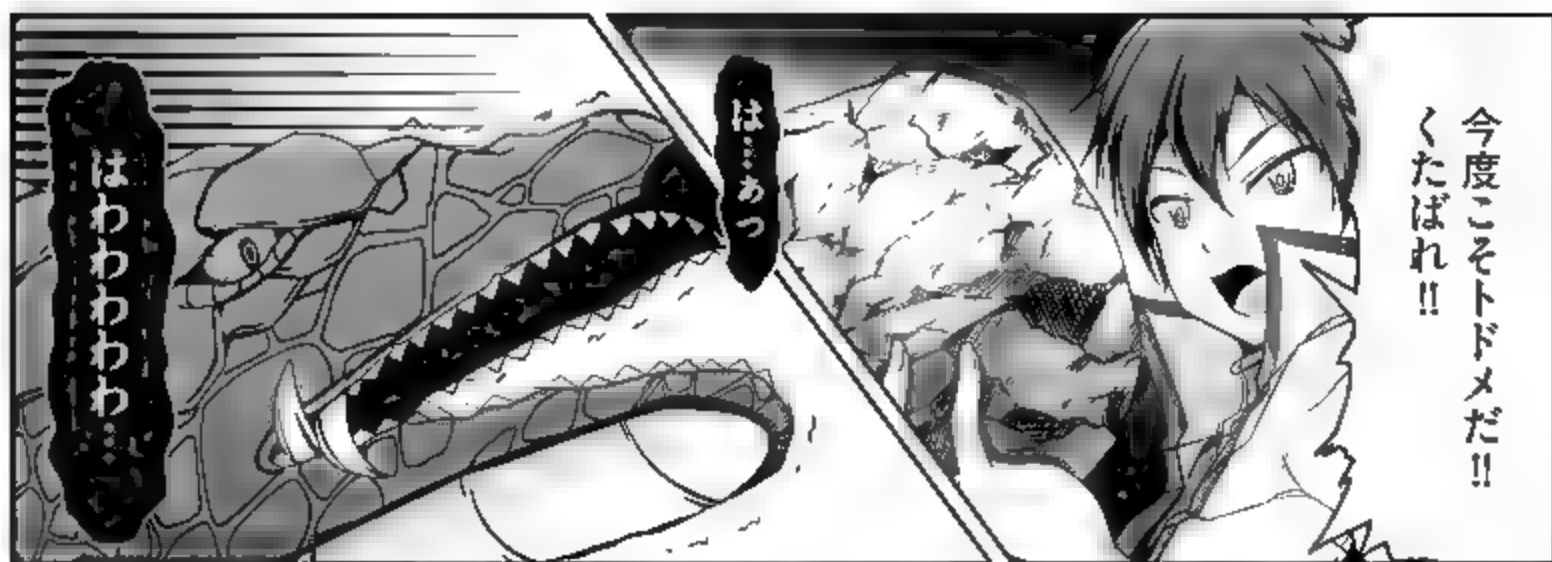
に…人間のくせにでかい…

「しゃぶれ」

身体が…っ勝手に…!?

おいしそうに舐めろよ

ぐぐぐ…

そ…そんなこと…っ！誰がする…ものかっ!!

誇り高きドラゴニュートがっ人間のモノなど…!!
絶対に舐める…ものかっ!!
安心しろ
おまえは「この匂いが好きになる」
ほら一気に
喉まで飲みこめ!
んぷ…っ
おお…さすがは火を吐くだけはあるな
熱くて気持ちいいぞ

自分から
しゃぶり始めたな
その調子だ
どうじて…
ボクは誇り高き
ドラゴニュートなのに…
オスの匂いが
気持ちよくって…
舐めるの…っ
やめられない…っ
そろそろ出すぞ
ちゃんと飲めよ
熱い…っ
これ…精液…っ
喉の奥に流れ込んでくる…
口から胃まで精液の味と匂いが
染みこんで…きちゃう…っ♡

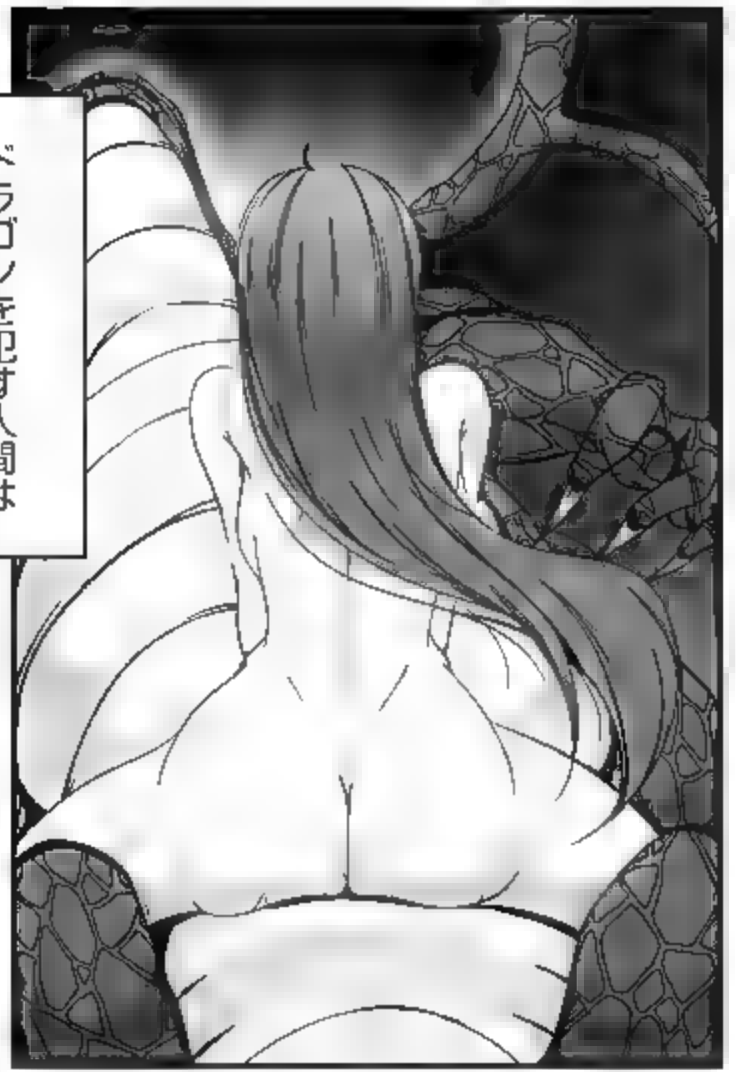
全部飲めたな？偉いぞ

「おしおき」もこれで仕上げだ

あ…あ・犯される…

このままじゃ…ボクは…ぁ

メスになっちゃうぅぅぅぅぅ!!

やっ…イヤだっ！
ボクっ…おまえのっ
メスになんか
ならないっ!!
ドラゴンと
結婚…っ
するんだぁっ
こんなに股を
濡らして
何言ってるんだ
いやだぁ…っ
人間なんて…
キライだぁ…っ
そのうえ
ギチギチに
締めつけて…
中に出すぞ
そうだ…
人間なんて…

ドラゴンを犯す人間は
一般的に周りから
「変態」と呼ばれる

愛があろうとなかろうと
犬や猫とセックスするのと変わらない
人にとってもドラゴンにとっても

当人同士は幸せだろう
誰に何を言われても
お互いが望んだこと

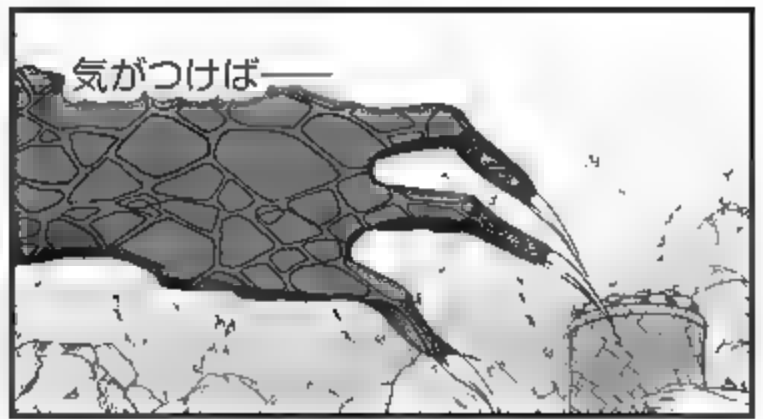
だが竜と人間が
交わり
産まれた子は
どうなるだろうか?

竜からは変態の子
人からは化け物とされ
誰からも
相手にされなかった

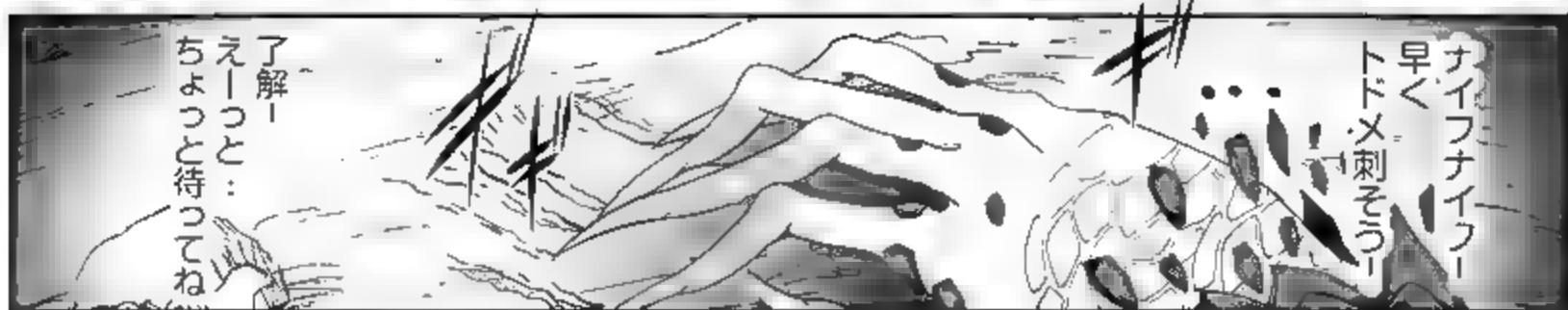
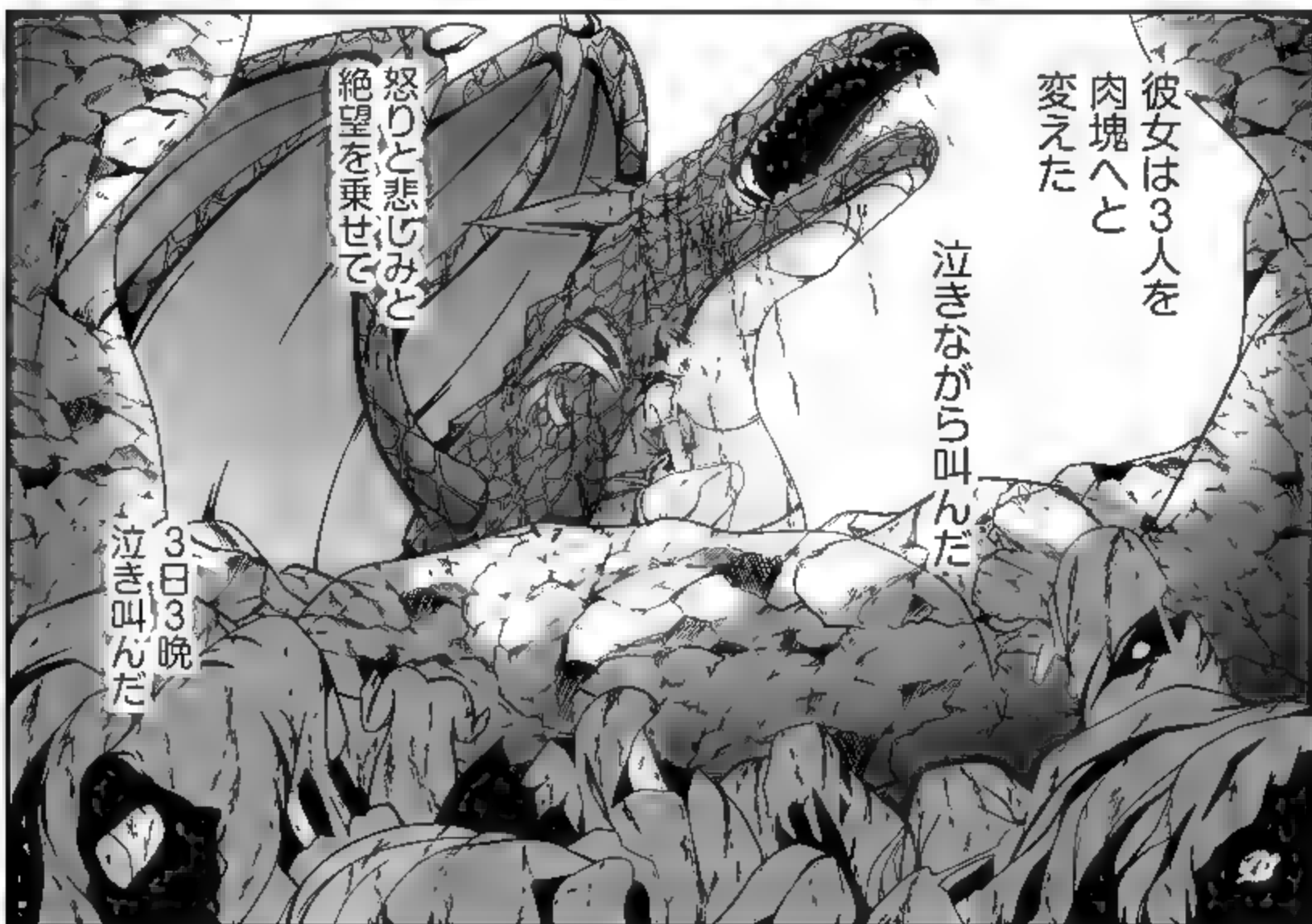
彼女は竜の姿で
ひとりきりで生きることを選び
人里離れた洞窟に住んだ

そんな彼女のもとに
訪れるのは
「竜殺し」の称号を
得ようとする
人間だけだった

人はひとりでは生きていけない
異物として扱われる彼女は
強き竜の姿で生きるしかなかった

敵意を向ける
人間は殺した
それは竜として
生きる決意でもあった

あるとき
3人の女が現れた

だから気づかなかった
3人が向ける
ゆがんだ笑顔に

アハハハー
すっごいまだ生きてるよ
全部食べたのにさぁ!!
ごめんね
私たち「竜殺し」に
なりたいの
竜殺しになれば
一生贅沢できるもんね!
ナイフナイフー
早く
トドメ刺そうー
了解ー
えーっと…
ちょっと待ってね
彼女は3人を
肉塊へと
変えた
泣きながら叫んだ
怒りと悲しみと
絶望を乗せて
3日3晩
泣き叫んだ

しかし妙だな
生贄を要求してきた
ドラゴンなんだろ？

あぁ…っ そうだ…っ
妹が生贄にされる
予定…だったんだ

そのわりには
あまりにも
人を信用していない

異物が入っているかも
しれないレストランで
食事をしたがるか？
信用できない相手が出す
生贄を食うのはおかしい

確かに…っ
そうかもしれない…がっ

それはさておき
そろそろ
イキそうだ

あぁ…っ
いいぞ…
なかに…だして…っ

っ…
イク…ぞっ…！

うんっ…♡
私も…イク…っ♡

なんなんだ
おまえらは!!

頭おかしいんじゃ
ないのか!!

なんだ急に
失礼なやつだ

出しすぎだぞ
垂れてきた

抱き心地いいからな
ラティは

ばか…っ♡

急でもない!!

ボクの股からも
垂れてるわ!!

話を聞け!!

ボクを抱いたあとにその女抱くとかおかしいだろ!? 処女だぞボクは! 不満か!?
おねだりされたので
見ていたら妬けてしまってつい…な
八つ裂きにするぞ!!
はー
はー
まぁいい… さっきおまえらが言っていたことだがな
ボクは人間が差し出したモノなんか絶対に食べない
…どういうことだ?
デマということだろうな
誰がどんな目的でそんな話を流したのか調査が必要だな

【第7話】

なるべく早く戻ってくるからな
「ラティ喰うな」よ
気をつけてな
だから喰わないいっ!!

村に着いたし
犯人を探すとするか
こんなデマを
流せるのは権力者…
村長かな

村長の家なんて
知らないぞ！

ラティの家くらしか
知らないんだった…
仕方ない
ミティに聞こう
おまえも帰っていいぞ

ただいまー…

あっ…あにさま…っ
そこ…もっと…
うえのほう…っ
こすって…
あ…あっ
あにさま…っすき…い

イキそうです…
も…イク…っ
あにさまも…
イって…です
んー
無理だなー
そんな…
えっ

なんにも…
してない…
ですっ
いやそれも
無理がある

しかし
いいところに
帰ってきたかな

あぅ…

たくさんしてあげるよ
はいです…
あ…っ♡
あにさま…っ イク…イキます…っ
あぁ 中に出すぞ…っ
おねがい… します…っ

あにさま…
ふー…
ん？
ふるっ
あと5回くらい…してほしいです…
ミティはやらしい娘だな
れる…
ぬる
れる
ひとりでおるすばんは…
さみしかったのです…
そんな長い時間じゃなかっただろ？かわいいやつだな
えへへ…
あにさま…すき…しゅき…
しゅき
あ
あ
パン パン
寂しい思いをさせた分たっぷりかわいがってあげた

あれが村長さんのおうち…です
…さすがにデカい家だな
ちょっといいか？
…何者だ
怪しい者じゃない
性欲と快楽に忠実な普通の男さ
怪しさ以外に何を感じろと!!

どうぞっ!!
お通りくださいっ!!
うむ

!!

何者だ!!

…いちいち説明するのも面倒なんだよな

あ…?

「おまえらは俺の問いにすべて答える」

う…

さて…おまえは
誰だ？
わ・わたしは…
マーチャント
どれいしょうかいの
ものだ…
奴隷商会？
な…なにを
しょうじきに
こたえて…るのっ!!
おまえは？
わたし…は
そんちょう…です…
村への生贄要求に
奴隷商人と村長が
密談ね…
予想はつくが
一応確認する

ドラゴンが生贄を要求してきた…というのは本当か
でたらめ…よ…道中で奴隷商人に…回収して…売る…予定だった…
そうした理由は？
もっと…贅沢がしたい…こんな村の村長じゃ…我慢…できない…
…っ！あ…はぁ…っわたしたちは…いったい…⁉
…思った以上にクズなやつらだったな
な…何をした…っ‼
正直に話す術をかけただけだ

さて…ここからはミティに見せられない
？
刺激が強いからな

「深く眠れ」
あ…
とろん…

さぁ…始めるか

心配するな殺しはしない
あ…あ…
要求はたったひとつだ

「性奴隷になれ」

どうだ味の方は
んっ…とっても…
おいしい…っ
ずるいぞ…っ
わたしもしゃぶるぅ…っ
よし…舐めるのは
これくらいでいい
ふぇ…
またがって
腰を振れ

あっあっ
きもちいい…っ
これっひさしぶりっ
あっ
俺は気持ちよくないぞ
もっと締めろ
はいっ
どうですかっ
ぎゅーって
締めましたぁ
あぁっかたちっ
わかるぅ…っ
おっきくてっ
かたいのぉっ
何ひとりで
楽しんでるんだ
「意識だけ戻れ」
っ!?

え…？ あ…
何…これ…
ほらどうした「動け」よ
びくっ♡
びくっ♡
嫌…っ いやなのにっ なんで…え…っ
イクッ♡ イっちゃううっうう♡
からだがっ…
かってにぃ…っ
ズップ

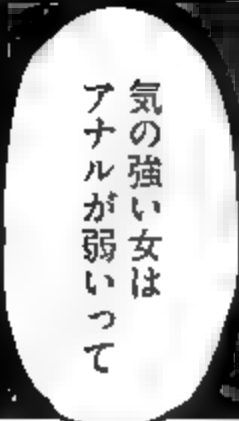
っやぁあああっ
なか…にぃ…っ
ほぁ♡
ビクっ♡
ヘンタイの…おっ
せいえき…があ…っ
んんん。♡
さて
くるっ
次は
こっちか
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡
くちゅ♡

おまえも意識だけは戻っているだろう？ずいぶんといい格好だな
ぐ…あぁ
貴様のようなゲスが命令するのが好きそうな格好だな…っ

ならこっちを
試すとするか
っ…!?
そこは…
ちがっ…うっ
俺の世界では
よく言われるんだ
気の強い女は
アナルが弱いって
そっちは…処女…
なんだぁあああっ!!
ズプ
ずりゅ
ずにゅ
ぐりゅ
ぐりんっっ
ぱあああぁぁっっ

あっあっ…
やめろ…やめてくれっ
やっ
あっ
あ
おねがい…しますっ
やめてくださいっ

はー…♡
はー♡
ひくっ♡
ひくっ♡
びくっ♡
はふ…♡
なへ…♡
びくっ♡
おひり…
しまらない…よぉ…っ

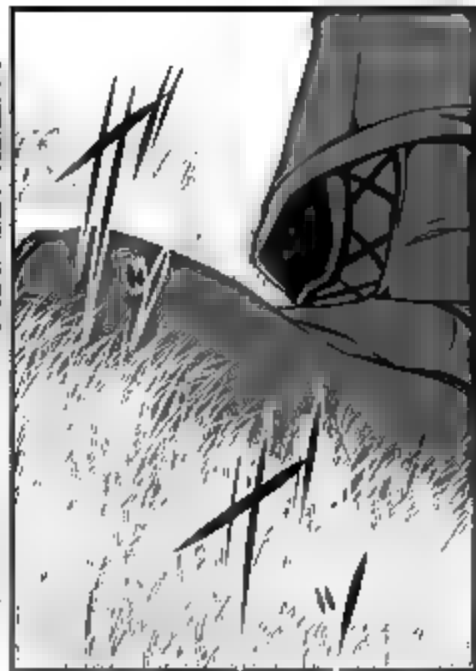
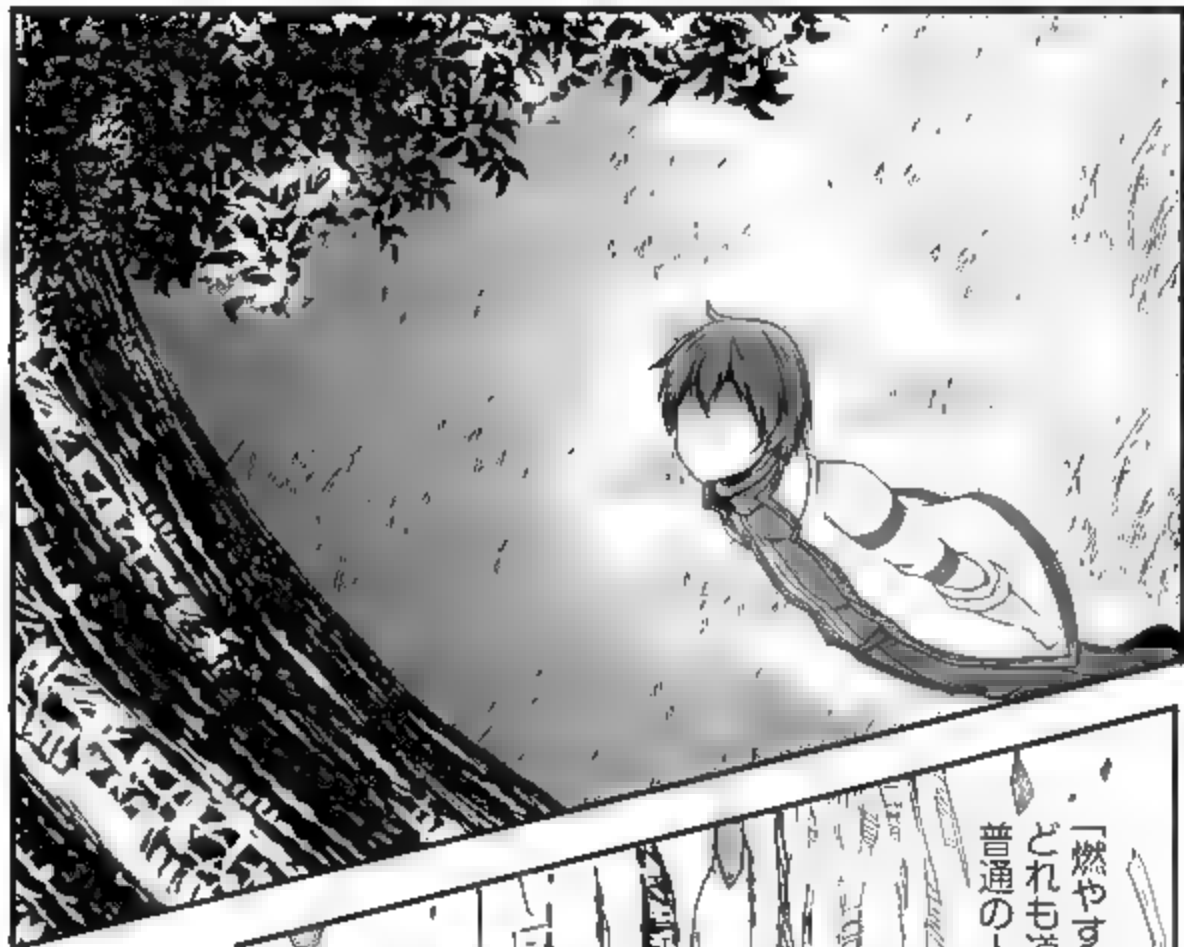
この首■は俺への
隷属の証だ
おまえたちは
「死ぬまで俺の性奴隷」だ
はい…っ

俺は勇者に殺される設定だ

それまで好きにやって死ぬつもりだったが…

ラティとミティ
このふたりに出会い
死ぬのが惜しくなった
ふあさ。。。
生き残る方法を
もっと考えるべき
かもしれない
この世界と力をもっと楽しむために

勇者襲来まで　あと
4日

【第8話】

生き残ることを決めたのはいいが正直手詰まりなんだよなぁ
『無効化能力が最強すぎて無双しかできない』
俺が向こうの世界で見ていたアニメのタイトルだ
タイトルのとおり『主人公』は『あらゆる攻撃を無効化する
カマセ犬の俺が強いのも『すごい力を無効化した方が映える』といった作者の意図に思う

枯れろ
「燃やす」「折る」「吹き飛ばす」
どれも道具を使えば
普通の人間にもできることだ
「枯れる」なんて
時間と手間のかかることを
一瞬で行うこの力も——
グッ
『主人公』には無効化される

そうか…大変だったのだな
そんな辛い目に
遭っていたとは…

はなせっ！ちょっと
背がデカいからって
図に乗るなよ!!

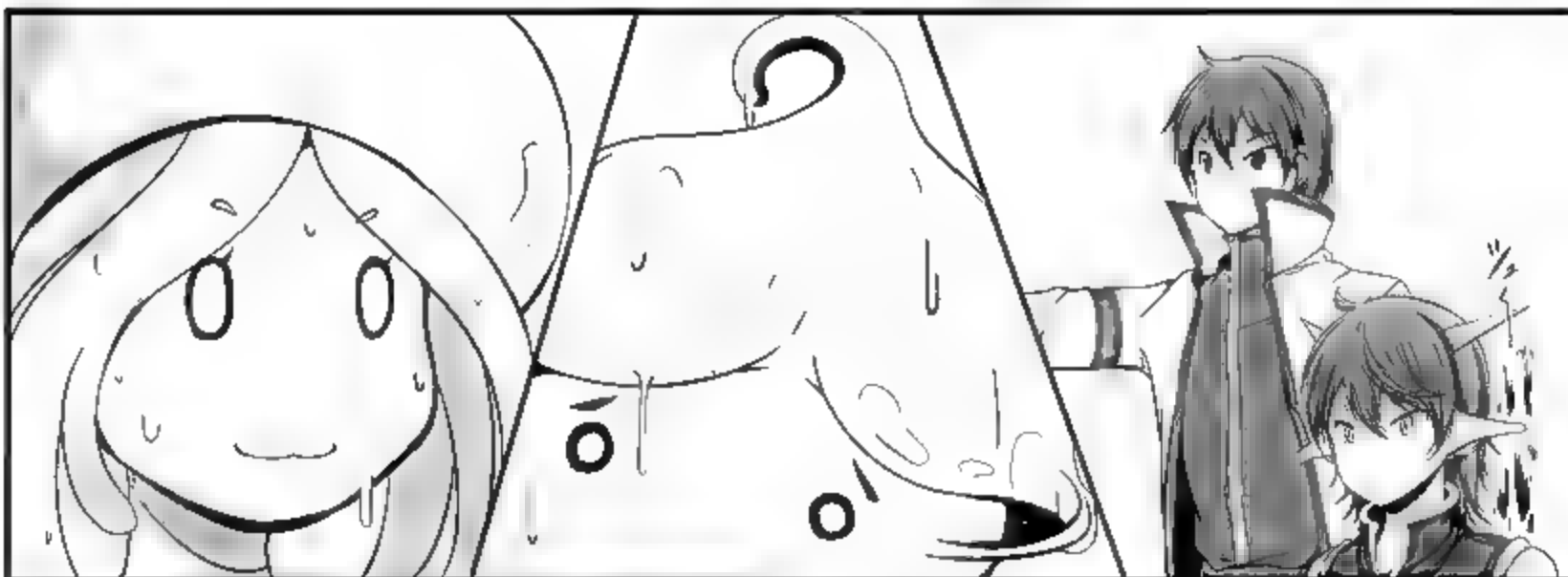
おっぱいは
同じくらい
あるんだぞ!!

私はそんなことも知らずに
殺そうと…
もういいから抱っこはやめろ!!
おまえより年上だボクは!!

ふんっ…
別にいいさ
人間なんて皆そんなもんだ
おまえだけじゃない
パンツ見えてるぞ
おまえは中も全部見ただろ!!

私は…なんということをしようとしていたのか…
俺も同じだ気にするな
ひとつ考えがある

ザザ
ザザ
…言うとおりついてきたがここはなんだ
海だが？
見ればわかる!!
馬鹿にしてるのか!!
どうして連れてきたのかって意味だよ!!
私の水着でよければ着るか？
着ない!!
なんで持ってるんだ!!
まぁ少し待て
すぐにここを縄張りにする…
ワハハハハハハハハハハ
ほらきた

金剛イカで遊んでいたらぐーぜんにもヌシ様がやってきおったわ!!
ドドドドド
ぶつかって殺しても悲しい事故よのぉ!!
こっちに来るぞ!
こんな大波起こせるあたり力は本物なんだろうな
死ねぇぇぇぇぇぇいいい!!

キン
…よし!!
解散っ!!
違うんじゃぁ ふざけてドーンってしようとしただけじゃ～ 殺意はないのじゃ～!
死ねって言ったろ…
あれ焼きイカにしていいか?
かわいいペットじゃ! やめてたもれ!!

…で
コイツはなんだ？
わらわは
わるうない…
そうじゃ…
わらわはいい子…
「一応」高位の精霊だ
見てのとおり人間じゃない
「友達」に
なれるんじゃないか
………！
なんじゃなんじゃ
わらわと友達に
なりたいのかぇ？
わらわ好みが
うるさいぞ〜〜〜
む〜〜〜〜〜ふ

だぁいかんげいじゃぁ〜〜〜♡
女の子まいすたぁのわらわ大満足♡小さくてかわゆいの〜♡
ズリ
ズリ
実にぴゅあでういういしい!超たいぷの女の子じゃ!!
抱き心地もよいのぉ〜♡
細い腰っ♡
おっぱいふわふわじゃ♡
エロいことすんなよ?
性欲は貴様に霧散させられたわ!!
わらわはジェリーじゃ♡
ジェリーちゃんと呼ぶがよいぞ♡
ともだちの♡
ゆびきりじゃ♡
う…うん…
よろしく…

キュ
パァ
ア
す…
ういのぅ～
ええ匂いじゃ～♡
ちゅーするかっ♡
ちゅー♡
うね
うね
うね
よかったな
無事友達ができて
私では受け入れて
もらえん
本当にアイツで
よかったか
悩んでるけどな
それは
遠慮する…
…いや少し…その
感謝…してる
ん？
ともだち…
できたから…
おまえ
いいやつ…
なんだな…

俺がいいヤツね…

あー…それは

いいやつ

に決まっている!

なわけなかろう!!

え…え?

そなた満点美少女を赤点美少女にする気か?血迷うでないぞ…

私は本気でそう思っている

こやつは女を犯すことしか
考えておらん!!
思い出すのじゃ!!
わらわなど8回も
中に出されたぞ!!
ッ!
確かに節操はない…!
だが私を
助けてくれたのだ!
ドラゴン相手に!
命を顧みず!!
女を抱くために
やっておる
だけじゃろう!!
命知らずも
頭に精液が
詰まっとる
からじゃ!!
ぐぅ…っ!!

ジェリーが正しい
そうじゃろ
そんな!!
俺は自分に正直に女を抱きたいだけだ
そうじゃろそうじゃろ
ジェリーを紹介したのもこの恩でまた抱けると思ったからだ
なっ…
もちろんおまえもだジェリー
んおほぉっ♡
嘘つきにはしたくないからな勝者を
ズブ

ま…また犯されたのじゃぁあ…♡何度もイかされ…♡
やっ♡なかにだしちゃだめじゃ…♡はらんでしまうぅっ♡

…おまえホントにアイツが好きなのか？あんなのだぞ
もうなかはいやじゃぁあ 男のモノでイキとうないぃぃ♡
思うところがないわけではないが…
他人の不幸を取り除き幸せにしようとするその行動は事実だ
自分のためだろ気持ちよくなりたいだけだアレは
やぁ…ぁ…なかにだしたぁ♡

ああいうのを見ると
私もすぐに
抱いてもらいたくなって…
いや見なくてもなんだが

ふるっ

おまえもスケベな
だけじゃないのか!?

ラティ
したいなら
こっちに来い

あっ♡あっ♡
もっと…♡
おくまでっ
あいしてくれっ♡
おっぱいで
イった?
う…うむ♡
俺はまだ
イってないから
動くぞ?
……
うんっ…んっ♡
なか…っ♡
だしてぇ…♡

ん…キス…して…♡
すき…♡
このニンゲンは本当にセックスのことしか考えていない
精霊だろうとドラゴンだろうと関係ない…
ドラゴンのボクでも関係なくって…
平等…なんだ
はー♡
は♡
ボクも…
犯していい…ぞ
おい

〜〜っ♡ 入る…ぅ♡ 入っちゃう…っ

人間の…っ あついのぉ…♡

ぜんぶ…っ♡

ずぷっ

あんっ♡♡

っ―

どうした? 早く動け

やっぱりコイツ セックスのことしか 考えてない

そ…そんな後ろから
突き上げるなぁ…っ♡
あいつには
やさしく…っ♡ してたっ♡
のにぃ♡
だめ…っ♡
おっぱい…ボクも
よわい…っ♡

あおおぉぉ♡♡
あつぃい…♡
せいえき…なかで
出てるよぉ…♡
気持ちいい…♡

はーー♡
はー♡
はぁっ♡
はーー♡
はぁっ♡
はー♡

待てよ
あの手なら
『主人公』にも
通用するかもしれない

他に手がないなら
やる価値はある―!

to be continued

作画担当の
零覇です
単行本お買い上げ
ありがとう
ございます

色々な子が
出て来ましたが
好みの子か
いたでしょうか
これを
描いている時点では
また勇者は出て
いませんが
次巻で出ると思います
それでは作画と
ネーム面から
女の子たちへの
所感でも

ラティ

真面目な子なので
ボケたりツッこんだり
あんまりしませんが
一番良識と常識がありそうです
会話がはっちゃけないから
実はネームが切りにくい

おっぱいは
２番目に大きい

ミティ

マスコット枠です
髪の毛のハネは犬耳イメージ
ボソボソした喋り方ですが
えっちぃ方向には一番積極的で
恥じらいも少なめで描いてます
あまり考えては無さそうだけど
その分カンは鋭めな感じ

おっぱいは
１番大きい

ドラ子（仮）

現時点では名前がまだ
出てきていない子ですが
そのうち解るはず・・・
ツッコミ激し目に出来るので
とっても便利
生い立ちが可哀想なので
是非とも幸せになって欲しい

１番背か低くて
おっぱいはラティと
同じくらい

ジェリー

ボケもツッコミもイケる
顔が崩れてもいい
なんと使えるやつなのでしょうか
描いてて楽しいヤツです
主人公張りに色々と出来るし
今後も出番が多いといいなぁ・・・

背もおっぱいも普通

上記４人は気に入って
描いていますが
他にも村長とか
昔ラティが守った子とかも
設定があるっぽいので
後々出てくるのでしょう
今後も他に色々な子が
出てくるかもしれませんので
好みの子がいれば
教えてもらえれば嬉しいです

他にもロリ系とか
お姉さん系とか
人妻とか色々出て来たら
楽しいですね
ただメインの子が
薄くなったら
悲しいなぁと思いながら
次の原作を待つ
作画の零覇なのでした

あとがき

初めましての人は初めまして。

何度かお会いしたことのある人は、
いつもありがとうございます。
ラノベ作家&漫画原作者のkt60です。
デビュー作である、
「物理さんで無双してたらモテモテになりました」と
同じ勢いでエロを書けて楽しかったです。
今後どうなっていくかは、売上次第ではあります。
しかしどのようになろうとも、
下半身に正直な主人公によるエッチなストーリーで
押していけたらなぁ～～～と思っております。

よろしくお願いします！

kt60 (ケーティーロクジュウ)

RK COMICS　COMIC RAKUU

チートスキル『支配』を使って異世界ハーレム！1

作画 零覇(れいは)　原作 kt60(ケーティーロクジュウ)

発行日　2022年8月20日　初版第一刷発行

発行人　小澤誠昭

発行所　株式会社ぶんか社

〒102-8405
東京都千代田区一番町29-6
TEL 03-3222-6516（編集部）
TEL 03-3222-5115（出版営業部）

印刷所　大日本印刷株式会社

定価はカバーに表示してあります。
乱丁・落丁の場合は小社でお取りかえいたします。

ISBN978-4-8211-5416-6